

様式第12号（第11条関係）

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 5 年 3 月 19 日

市川市長

団体名 市川児童合唱団

(団体番号 45)

代表者名

所在地

令和 4 年 4 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について
下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	1,280,555	円
(2) 補助対象経費総額	401,931	円
(3) 補助金交付決定額	150,000	円
(4) 補助金交付概算払額	150,000	円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	「ひびけ！とどけ！子どもらの歌声、市川の街に」事業
	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください
補助決定事業の実施内容 計画に照らした事業の実施結果を記載してください	実施時期 令和4年11月06日（日） 実施場所 行徳文化ホール I&I（I&Iホール） 内容 添付したプログラムによる「市川児童合唱団 第47回定期演奏会」を企画・制作し、開催いたしました 参加人数 出演した団員とOG 37名 上演 staff6名、裏方 staff12名（外部講師も含まれます） その他の関係者25名 入場者376名 左記入場者の8割が市川市民です チケット番号を記載把握することで、市内の方をカウントしています
広報の実施状況 市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載して下さい	広く市民の参加を呼びかけるため、以下の広報活動を実施致しました ① インターネットを活用し情報発信 →ホームページ ② フリーペーパーへの掲載 →「いちかわよみうり」「アエルデ」等 ③ 広報いちかわ（市民の広場）に掲載 ④ その他 最寄り駅、市立公民館、公立小学校及び幼稚園へのチラシ配布とポスター掲示 ⑤ いちかわテレビの取材と放映
	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等、得ることができた成果を具体的に記載して下さい
補助決定事業の成果 課題をどのように解決することができたのかを記載してください	2022年11月6日、私たち市川児童合唱団は実に2年8ヶ月ぶりに公開の場でコンサートを開催いたしました。 ……思い起せば、2020年3月2日、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴って始まった学校の一斉休校、前後4回にわたる緊急事態宣言の発出、蔓延防止等重点措置の適用等々によって、私たちは練習もコンサートもオーストラリア演奏旅行も春と夏の合宿もスキー教室もハイキングも、一切合財中止せざるを得ない状況に追込まれました。 しかしながら、それから3年ちかくに垂んとするパンデミックの渦中でも、私たち市川児童合唱団は歌うことを止めませんでした。どんな小さな歌声であっても、点滴穿石、歌い続ければ、諦めたり立止ったりしなければ、それはいつか必ず大きなハーモニーの輪となり、地域の皆さんの共感と感動を呼び起すだろうことを信じていたからです。 ……長くて辛い道のりでした、合唱することへの制約は数多に及び、解決に向けた試行錯誤は多岐に渡りました。 そうした私たちの思い、そうした私たちの歩みこそが、今回の市民活動団体補助事業（市川児童合唱団「第47回定期演奏会」の上演）へと結実したのだと思います。

	<p>この2年8ヶ月の間に、感染症蔓延が理由で合唱団をやめたこどもは、わずか3名でした。99%のこどもたちは、父母たちは、そして指導する先生たちは、明日が見通せない閉塞環境と人間関係の希薄化の中で、時として暗澹たる思いに苛まれることはあっても、しかし決して歌うことをあきらめなかったし、熱意と信念が揺らぐことはありませんでした。</p> <p>皆で集まって、歌ったり踊ったりして、心をひとつにして舞台作品を作り上げて行くという、私たち市川児童合唱団の活動、それと対極に位置するのがバーチャル環境でしょう。そうした仮想環境への親和（ゲームへの没頭、SNSへの依存等々）は近年さらに加速しました。他者と向い合い血の通った交流を構築すべき機会はますます失われつつあります。</p> <p>私たち市川児童合唱団の掲げる課題解決は、いまだ道半ばであると言えます。しかしながらこうした上演活動を百折不撓の思いで継続して行くことこそが、課題の解決に至る、必要不可欠な手だてであり方向であろうかと私たち市川児童合唱団は考えております。</p>
	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p> <p>(今後の方向性)</p>	<p>インターネット社会がもたらす対人関係の希薄化は、偶発的のものではなく一過性のもでもありません。今後ますます必然の流れとして私たちの社会に浸透し常態化してゆくものと思われまます。</p> <p>そうした既定路線とも言える奔流に対峙して、人と人との顔が見える対人関係を見失わないためにも、バーチャルでない創造活動は、連綿として継続して行かなければならないように思えてなりません。</p> <p>……私たちのささやかな活動に対する共感の輪が少しずつでも広がってゆくよう、広報その他に知恵を絞って行きたいと考えております。</p>

(6) その他

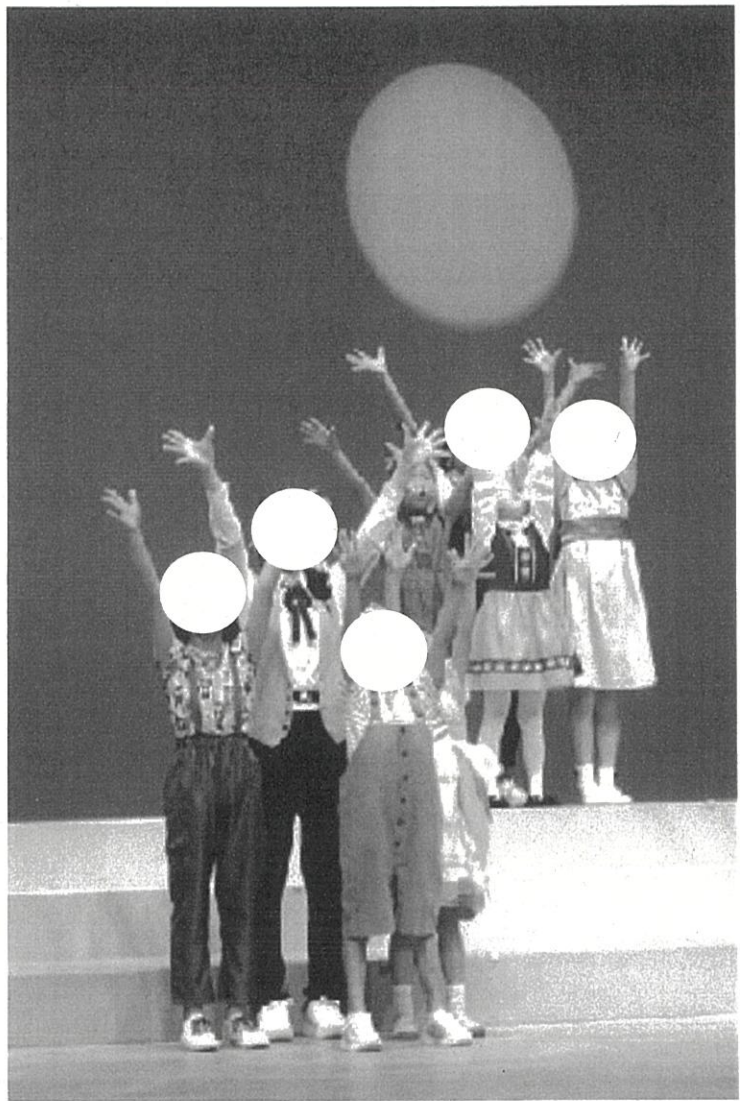
※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル

市川児童合唱団
第47回 定期演奏会

撮影年月日

令和4年 11月06日 (日)



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 「ひびけ! とどけ! 子どもらの歌声、市川の街に」 事業

1 【収 入】

(単位: 円)

項目	金額	説明 (積算等)
事業収入	1,076,000	演奏会費 16,000円×32人= 512,000円 ダンス・レッスン料 5,000円×32人= 160,000円 透明マスク 代金 28,000円 チケット販売/全自由席 市児 1,000円×1 家庭10枚×24家庭= 240,000円 新小岩 1,000円×1 家庭6枚×07家庭= 42,000円 一般 1,000円×94枚= 94,000円
寄附金収入	0	
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)	50,000	協賛金 ニッケ・コルトンプラザ 50,000円
その他 (赤字補填)	4,555	団体の本会計より充当
合計	1280555	

消耗品費	54,363	0	② 事務用品 他 (内訳は領収書を参照) 54,363円 (内 00,000円)
通信 運搬費	19,258	0	③ 通信費 (案内状&招待状郵送のための切手等) ハガキ 2,880円 (内 00,000円) 切手 15,178円 (内 00,000円) ④ 機材運搬 行徳駐車場 1,200円 (内 00,000円)
保険料			
原材料費	9,183	0	⑤ 音楽著作権 JASRAC 9,183円 (内 00,000円)
食糧費	67,000	0	⑥ 弁当代 (内訳は領収書参照) 10,546円 (内 00,000円) 飲料 (内訳は領収書参照) 6,454円 (内 00,000円) ⑦ 打上げ 50,000円 (内 00,000円)
その他			
合計	1,280,555	401,931	

備考

- 1 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記載してください。
- 2 市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書 (様式第11号) を提出する際、市川市市民活動団体事業補助金申請事業収支決算書 (様式第12号) とともに領収書を添付する必要があります。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2023年 3月 30日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
市民後見センターちば

(団体番号 47)

代表者名

所在地

2022年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	182,752円
(2) 補助対象経費総額	182,752円
(3) 補助金交付決定額	150,000円
(4) 補助金交付概算払額	150,000円



(5) 実施報告1:24C101:18C101:181:40C101:18+C10+1:18

補助決定事業の名称	市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する
<p>補助決定事業の実施内容</p> <p>(計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>1. 成年後見制度・入門編／相談会 前年度までの方法と違う方法で、8月より新・市民後見人養成講座として スタートしました。(12回開催 延べ14名参加)</p> <p>2. 成年後見制度研修会(ステップアップ講座) 2回を1回に減らし、「死後事務について」をズーム開催しました。22名</p> <p>3. 出前講座 問合せはありましたが、コロナ禍の中、成立はしませんでした。</p> <p>4. 相談会 広く一般に広げた相談会は開催できず、個別電話相談、zoom相談として広報しましたが、申し込みは、ありませんでした。 今年度も、前年度と同じく、会議をはじめ、全体的にリモートでの開催となりました。そのことは、感染リスクの軽減はもとより移動時間短縮の面でも有効的であったと考えられます。 しかし一方、こちらも前年度通りですが、当会が成年後見制度の対象者及び周囲にいらっしゃる一般の方が、専門職の方を除くと中高年の方が多いため、実際の開催があっても参加に積極的でないことが想定され、また会場の人数制限もあり、結局実施に踏み切ることができませんでした。 また、会内部でのリモート会議が定着し、不十分ながらも、zoomの取り扱いにも慣れたため、一般の方の参加、尚且つ、有料企画として開催に向け動きましたが、500円の金額の集め方に疑問が出され、内容的にもよい企画となり、参加社からの評価もよく、残念でしたが今回も無料企画としました。 入門編については、前年度からの講座を3月に終了することになりました。僅か1名ですが、現在実地研修に入り、4月から後見担当として正式に参加いただくことになりました。今後については、再度講座内容の再検討したうえで、次年度後半から進める予定です。 出前講座は、次年度の問合せもあるため、引き続き継続していきたいところです。相談会については、いつでも対応できる環境の維持はしていきたいところです。</p>
<p>広報の実施状況</p> <p>(市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>1. 公民館での配布依頼 2. 市内介護施設、障がい者施設への配布依頼 3. その他関係者への案内状送付</p>
<p>補助決定事業の成果</p> <p>(課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>今年度は、一般の方に直接的に広く啓発活動をするにはなりませんでした。専門職の方達を中心とした方たちへの「死後事務」について企画としました。多くの関心を頂き、現場での「死後事務」に関する知識不足、事例のごとの多くの課題、制度の不足部分など、現場の混沌が判明し、新たな現場での問題点として把握することができました。その面では、次年度以降の講座内容の再検討の上での各専門職の方への提案が大きく位置づけられると思います。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策</p> <p>(今後の方向性)</p>	<p>事業の進め方として、一般の方直接の啓発活動は、コロナ感染状況に相当影響されるため、感染状況改善した際に対応することとしたのですが、結局改善までは至らないため、具体的な動きにはなりませんでした。一般の方においては、成年後見制度に関する情報量が増えてきており、以前ほど抵抗感は少なくなってきたと思われること。相変わらず、専門職の中にもあるためか、成年後見制度の2制度の違いが良くわからない方が多く、混乱しているのとの声が寄せられているようですので、その点の伝え方については、従来通り専門職の方に理解を進めて頂き、一般の方への分かりやすい説明ができるような提案、講座をしていく必要があります。次年度は、感染症対策自体が大きく変化するとのことであり、この問題の具体化を進めることができればと考えています。一方、今回の主目的であった一般の方に近い現場にいらっしゃる専門家の方達に対する啓発活動を中心として、現場で支援する方を支援し、間接的に成年後見制度の利用促進につなげていくこととしたのですが、テーマの「死後事務」については、今回市川社協の方の参加もあるほど関心もあり、要望も多かったのですが、具体的には、ケースバイケースの問題も多く、今年度の企画をもとに来年度に冊子の作成を考えていたことが、すぐには難しく、講座の内容含め、再検討が必要となりました。後見制度利用が広まっていく中で、当然被後見人の死亡ということは、避けられないことであります。そのことが、関係者の中でわが身のこととして認知され、問題視されているのですが、専門職の中での勘違い、制度上の不備もあるため、「死後事務」の基本的なことの整理と事例によってより分かりやすい資料作成、講座の内容も再構築が必要です。</p>

市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	参加費徴収講座未開催
寄附金収入		
補助金収入	150,000	市川市市民活動団体事業補助金
その他 (助成金等)		
会費充当	91,376	団体の本会計より充当
補助金返還	-58,624	
合計	182,752	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	50,000	50,000	★ステップアップ講師50,000円
交通費	0	—	■基本zoom企画となった為、交通費請求ありません
消耗品費	27,052	27,052	トナー(9,820円) テープ 1,400円+1,530円 タックシール3,020円+2,090円 ファイル・コピー用紙 3/1 5,152円 コピー用紙 7/27 3,270円 8/24 ファイル 770円
印刷製本費	21,665	21,665	プリントバック 9,970円+11,695円
通信運搬費	61,925	61,925	■ヤマト運輸(円) 4月分 1,781円 5月分 588円 6月分 168円 8月分 1,176円 9月分 84円 10月分 672円 12月分 168円 1月分1,694円 2月分14,364円 ■切手 4,730円 ■レターバック 3/30 36,500円
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	22,110	22,110	zoom使用料 ★前年度継続の入門講座を4月より3月まで開催 2月よりzoom無料相談会開始
その他	0	0	★新聞折込は実施していません
			★印は、当会負担費用(補助金対象外)
合計	182,752	182,752	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

2023年 3月 30日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
市民後見センターちば
(団体番号 47)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

2022年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する事業

2 変更の内容

2回開催予定であったステップアップ講座を1回開催に変更

折込宣伝の中止

有料企画を無料企画に変更

3 変更の理由

新型コロナウイルス感染拡大の影響のため

ズーム企画のため、集金方法が未確立

一般を対象とした折込宣伝方法であるため



様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

2023年 3月 30日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人
市民後見センターちば
(団体番号 47)
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

2022年 4月 1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

- 1 補助決定事業の名称
市民に広く成年後見制度を広め、その活用を推進する事業
- 2 変更の内容
代表者の変更 [REDACTED]
- 3 変更の理由
NPO法人の任期満了につき、代表者新任



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年3月26日

市川市長

団体名 梨風苑ガーデニングサークル
(団体番号 49)
代表者名 XXXXXXXXXX
所在地 XXXXXXXXXX

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	81,435円
(2) 補助対象経費総額	70,000円
(3) 補助金交付決定額	35,000円
(4) 補助金交付概算払額	35,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	「花と緑のまち運動」事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ・2022年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響の中で、メンバー間で役割分担をして、苗づくりと花壇への移植等を行った。 ・春は定番のマリーゴールド、ペチュニア、ニチニチソウ、大葉（シソ）、イタリアンバジルの苗づくりに取り組んだ。 ・秋はハーブのフレンチラベンダーとハボタンの苗づくりに取り組んだ。 ・11月後半にチューリップの球根の寄せ植えを作りを行った。 ・2022年度は菊の鑑賞会を実施し、作成した苗や寄せ植えの販売を実施した。防災花まつり等も実施することが出来、複数の方から寄付をいただくことができた。 ・メンバーによって整備された大野公園、北側緑地の花壇の状態は良好で、不特定多数の方に喜んでいただき、多くの方に寄付をいただいで活動が継続できている。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	新型コロナウイルス感染防止のため、広報活動はFacebookを使ったもののみを行った。 https://www.facebook.com/rifuen.gardening.circle/
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 2020年度、2021年度に続き、新型コロナウイルスの影響は受けたものの、感染に注意しながら、それぞれ担当する役割を精力的にこなし、大野公園、北側緑地、そして地域の住宅で四季折々の花が楽しめる状態を作ることができた。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・新型コロナウイルスの影響は依然としてあるものの、対面での定例会も一回実施することが出来た。秋には花の鑑賞会や防災花まつりも実施し、少しずつではあるがコロナ前の活動に戻りつつある。 ・本サークルの目的は地域の交流の促進であるため、2023年度はチューリップ（4月上旬）、藤（4月下旬）、あじさい（6月）、菊（11月）の鑑賞会に多くの市民にさんkしてもらえようように活動を活性化していきたい。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 菊の鑑賞会

撮影年月日 : 2022年11月5日



タイトル : 補助決定事業でメンバーが新たに整備した花壇

撮影年月日 : 2023年3月19日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：「花と緑のまち運動」事業

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	400	
寄附金収入	10000	サークルの活動への寄付金(賛助会費)
補助金収入	35000	
その他 (助成金等)	0	
会費充当	36035	団体の本会計より充当
合計	81435	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費			消費品費内訳
消耗品費	81435	70000	
印刷製本費			花苗 15,875
通信運搬費			球根 16,549
保険料			肥料・薬剤 22,211
使用料及び賃借料			園芸用土 26,800
原材料費			合計 81,435
合計	81435	70000	

※ 領収書(原本)を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和5年 1月16日

市川市長 田中 甲 様

団体名 国分川鯉のぼり実行委員会

（団体番号 57 ）

代表者名

所在地

令和4年4月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	341,000円
(2) 補助対象経費総額	187,030円
(3) 補助金交付決定額	107,300円
(4) 補助金交付概算払額	107,300円



(5) 実施報告 令和4年第31回開催

<p>補助決定事業の名称</p>	<p>国分川鯉のぼりフェスティバル</p>
<p>補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)</p>	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>国分川鯉のぼりフェスティバルは今年で31回の開催になりました。昨年は新型コロナの影響で中規模の開催に留まりました。Withコロナの中でもスーパーである「国分川・春木川の「甦れ清流!」は厳然と継承され、青少年の健全育成や地域の絆の強化にも貢献できたと自負しております。開催準備段階での、当実行委員会及び循環パートナー、近隣協力者と共に行う調整池の中池、国分川、春木川周辺の清掃活動は限定少人数ながら例年通り実施いたしました。残念ながら縮小したのは、①模擬店の出店数 ②演出出演団体数でした。実施できなかったのは、市川消防局の特殊車両の試乗体験などです。市の生活環境保全課が発行する浄化緯資料を提供して頂き会場にバッチリ展示し、来場者にも「甦れ清流」をアピールご理解頂きました。1昨年市のご厚意によりメインホール専用基礎が4基完成し300匹の中規模掲揚になりましたが、大型鯉のぼりはこのメインホールを悠々と泳ぐことができました。4月29日から5月4日までの6日間会場開放には延べ約9,000人が来場し、子どもから高齢者までが楽しく初夏の心地よい時間を過ごして頂きました。また開催地元稲越小学校からは児童の課外授業として見学に訪れて頂きました。</p>
<p>広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)</p>	<p>SNS・自治会広報(1,000部)・商店・近隣企業・自治会掲示板(50ヶ所)・近隣自治会掲示板・有線TV・市の広報誌・各団体、グループ等へのPR活動を実施・地域新聞掲載等。</p>
<p>補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>市川市の市民活動団体補助決定団体事業に認定されたことによって、実行委員及び協力者の鯉のぼりに対する意識が高まりました。そのことが本来の目的である国分川・春木川の浄化と環境保全の取り組みとしてご理解が定着して参りました。残念なことにこのコロナ禍に於きましては三密を避ける事が取東に向かう手立てであり、地域住民や諸団体に美化運動を呼びかけたいところでは有りましたが、密を避ける限定少数で会場周辺の草刈りやゴミ拾いを実施いたしました。今は稲越自治会と国分7丁目自治会が中心に行っている国分川鯉のぼりフェスティバルも、国分地区や曾谷地区の各自治会に少しずつ浸透し、協力の姿勢は大きく見えるようになりました。住環境の向上は、住んで良かった町になるはずである。</p> <p>また、会場の直近には「道の駅いちかわ」も出来、ドライブ休憩の方々も鯉のぼりを楽しんで頂きました。将来的には川上から川下まで、すなわち松戸市から市川市までの国分川流域の自然環境の保全に繋がるような運動になることを心から期待しています。今回も水質浄化アピールに付いては、市川市生活環境保全課のご協力により春木川、国分川や市内河川の水質改善推移のデータ(平成13年から平成28年まで)を提供いただきバッチリ参加者にアピールが出来、我々のスーパーの認識とご協力の啓蒙運動がより充実したフェスティバルになりました。毎年増加傾向にある見学者の安全・安心対策の一つにイベント保険の加入を昨年より継続しています。</p>
<p>補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)</p>	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>事業目的である国分川の水質浄化や環境保全と子どもの健全育成を達成するために、水源を同じくする「春木川をきれいにする連絡協議会」と連携して、水質を継続確認して行きたい。</p> <p>今では市川北部を代表する風物詩として定着させて頂いており、さらに「鯉のぼりフェスタ」もSDGs:持続可能な運営としたい。これには、①事業目的は子どもから大人まで全ての層に共感の拡大の浸透 ②実施するための必須メンバーの確保 ③主催実行委員の高齢化による後継者育成 ④資金等 が今後の課題となっている。これらの課題は実行委員の殆どが共有しており、毎回対策を講じている。以降も全国イベント大賞獲得に挑戦していきたい。地元、近隣の高校生等の若い層のボランティアに期待し是非爽やかな達成感を味わって頂きたい。これからも子どもから大人までの幅広い層に自然保護や水質浄化をアピールしていけると確信している。</p> <p>自然環境はただ見守るだけでは荒廃してしまうので、人間が優しくかわることによってのみ達成されると確信している。次回も「いちかわ道の駅」の来場者も鯉のぼりの会場へ足を運んでいただき。我々のスーパーを更にPRするサービスの場として当施設を歓迎すると共に、コロナの相乗効果は多大である。外環道開通と共に、本下水道の敷設も始まり、国分川流域の下水も徐々に完備され、早急に生活排水の流入が無くなる日を期待している。</p>

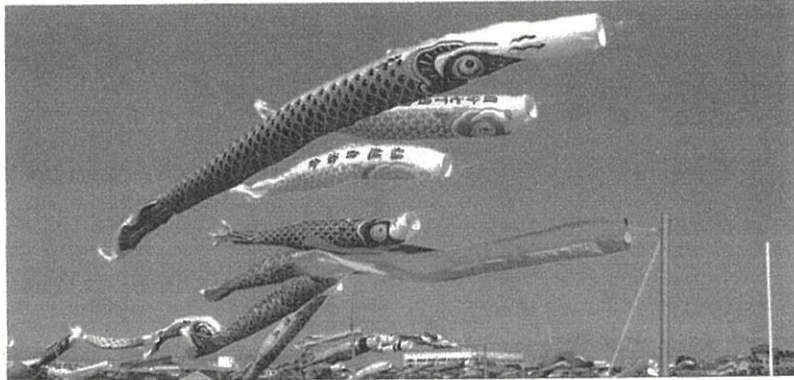
(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 第31回記念大会全景と実行委員会の思い！！

撮影年月日 : 令和4年5月4日

3年ぶり 国分川鯉のぼりフェスティバル大成功



令和元年以来3年ぶりの本格開催となった第31回国分川鯉のぼりフェスティバルは、当日の好天にも恵まれて大成功を収めました。コロナ禍によって一昨年は中止、昨年は鯉のぼりの溪流のみとなりましたが、今年は何とか開催に踏み切ることができました。鯉のぼりの掲揚期間である4月29日～5月5日には大勢の人が見学に訪れ、特に5月4日の式典には多くの模擬店と子供会による和太鼓演奏や市川市消防音楽隊による吹奏楽などが披露され、会場は大いに盛り上がりました。

タイトル : 5月4日 田中市長・服部実行委員長挨拶・賑わい・演芸

撮影年月日 : 令和4年5月4日



平田子供会による和太鼓の生演奏。最初の演目として会場を盛り上げてくれました。



ミニ鯉のぼりや軽食だけでなく、ストラックアウトなどの模擬店もあり、多くの人を楽しんでいました。



会場である調整池緑地・多目的広場には多くの人を訪ねていただき、大盛況でした。



式典は、鯉のぼり実行委員の服部委員長と市川市の田中甲新市長の挨拶で始まりました。

◆国分川鯉のぼりフェスティバルの軌跡◆

平成2年に第1回を実行委員わずか14名で企画準備を進め、地域の方の提供の鯉のぼり80流を国分川沿いに手作りポールで溪流したのが始まりです。本フェスティバルは2014年に市の景観賞に選ばれ、2020年には第24回全国ふるさとイベント大賞で次点にも選ばれ、市川市北部での5月の風物詩になっています。

市川市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称： 国分川鯉のぼりフェスティバル

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入	70,200	直営模擬店売上
寄附金収入	73,000	ご来賓会費、近隣企業、商店、個人からの寄付金等
補助金収入	107,300	市民活動団体事業補助金 107,300（令和4年暫定額）
その他（助成金等）	50,000	市観光協会からの助成金
会費充当	54,285	団体の本会計より充当
補助金返金	-13,785	
合計	341,000	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）○内番号は領収書番号を示す
報償費	0	0	今回は無し
交通費	0	0	市役所、警察署、消防署、教育委員会、観光協会等への手続・申請、実施報告等、※マイカー使用
消耗品費	125,650	117,100	ビブス20着購入：51,040⑤・コー用紙①+⑦：3,683・PCインク合計①+④+⑧：19,645・ごみ袋③：788・役員名刺作成⑨：2,640・混合燃料⑩：2,032・ブルーシート、PPD-ブ、ガス、手指消毒液、養生テープ、布テープ、軍手⑮：11,447・事務封筒長形3号⑰：220・保護力バーミキサー-KL70Y5個⑱：1,149・番線カッター⑲：2,074・クリアレジスタ等⑳：6,528エディン・式典用手袋、ボンベ⑳、ハサミ、布巾、半透明テープ、黄色危険表示テープ、700ml除菌ペーパー㉑：8,006・仕分けがば㉒10箱㉓：4,040・レジスタ、養生テープ、セロテープ、布粘着テープ、筆㉔、左記消費税㉕：2,828・事務用品、朱墨テープ㉖：1,472・パンフレット用A3版厚紙㉗：1,458・リサイクル交換費㉘：6,600・その他消耗品
印刷製本費	20,000	15,000	ポスター印刷費、製作費デザイン費㉙：20,000
通信運搬費	9,492	1,500	開催案内状、模擬店出店者等案内状発送費等㉚+㉛：6,048+2,100・案内状追加1）㉜：504・同左2）10通分㉝：840
保険料	23,855	19,000	スタッフ、作業者のイベント保険㉞+㉟：4,935・作業車両の保険：軽トラック用㊱：7,410・トラック用㊲：11,510
使用料及び賃借料	34,430	34,430	仮設トイレ2基レンタル費㊳：12,430・仮設トイレ男女用2ブース清掃費㊴：19,800・道路使用申請代（市川警察署）㊵：2,200
原材料費	50,757	0	資材搬入用鋼製足場及び番線購入⑥：11,273・会場設営費資材（垂木⑦）：7,656・コンパネ加工費2枚⑧+⑨：8,800+2=17,600・トラック燃料費⑩：3,000・トラック燃料代2⑪：7,918・発電機燃料費1）5/3⑫A：1,660・同左2）5/12⑫：1,650
協力者謝礼費	16,664		補助金対象外
食糧飲料費	55,152		会場設営、撤収作業時の弁当、飲み物等
渉外活動費	5,000		市観光協会・近隣事業団体、支援協力者相互渉外活動費（振込料含む）
合計	341,000	187,030	

※ 領収書（原本）を添付してください。

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

2023年3月30日

市川市長

団体名 赤レンガをいかす会
(団体番号 59)
共同代表者 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

2022年7月1日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	221,710.円
(2) 補助対象経費総額	210,590.円
(3) 補助金交付決定額	150,000.円
(4) 補助金交付概算払額	150,000.円



(5) 実施報告

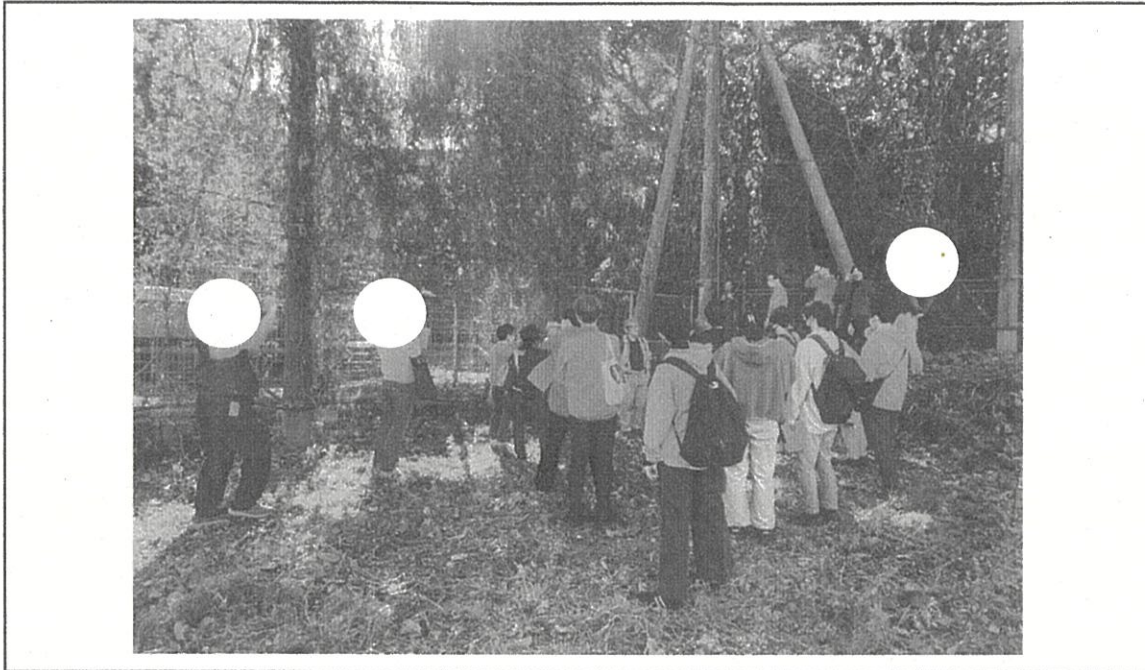
補助決定事業の名称	赤レンガ保存活動2022
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉商科大学や和洋女子大学の学生、市川の歴史の関心を持つ若い世代、シニア世代、研究者等が集まり、赤レンガ見学会を実施した。血清研跡地内に立ち入ることは出来なかったが、筑波大付属聴覚支援学校のご好意で、グラウンド内からフェンス越しに赤レンガ外観を見学することが出来た。 ・赤レンガ及び国府台の歴史に関して、史料研究を継続して実施した。Zoomを利用したオンライン打合せを実施し、定期的に進捗を共有した。 ・全上内容のパネル及び模型の展示（於 駅南図書館内）を実施し、市川国府台に積層する歴史や地形の面白さ、貴重な赤レンガ（煉瓦造歴史的建造物）が残ることを広く市民に向けて発信した。 ・全上の研究発表会と講師による講評会がスケジュール調整が出来なかったために開けなかった。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・赤レンガHP、facebook、Instagram等のインターネット上における一般に向けた広報の実施。 ・メールや地元情報誌（みどりのふおーらむ）等における地元コミュニティに向けた広報を実施。 ・ポスターやチラシの作成、掲示、配布による、近隣住民に向けた広報を実施。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉商大学生、和洋女子大学生との共同研究発表に向けた、関係性づくりの醸成。市川市内の学生が、市川の歴史の興味を持ち、地元住民と協力をしながら学びを深め、展示や研究発表を実施する関係性が整えられ、軌道にのってきた。 ・ワークショップに一般市民の参加があり、広く発信した結果が見られた。 ・駅南図書館での展示発表が多く市民に赤レンガに対する理解と反響を呼んでいる。 ・田中市長を始め広報課が関心を示していただき公式twitterに掲載。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤レンガと跡地を含めた一体として文化財として保存することの重要性を確認した。 ・周辺の学校施設と調和した芸術の分野に関わる創造の場、発表の場が相応しいことを確認した。 ・地形の特徴を学び江戸川遊歩道から斜面林を保護しつつアプローチの方法が重要であることを確認した。 ・国府台の環境と赤レンガを中心にした総合的な研究を進める。 ・理解者を増やし、計画のみならず実施、運営に至るまで市民が関わる長期的な展望を画いてゆきたい。 ・会員を増やし長期にわたる研究と計画を継続できるような体制を作る。 ・市と協力体制をつくり市民のための文化創造の仕組みをつくる研究を進めたい。 ・コロナのために懸案になっている「赤煉瓦全国大会 in Ichikawa2020」の開催。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

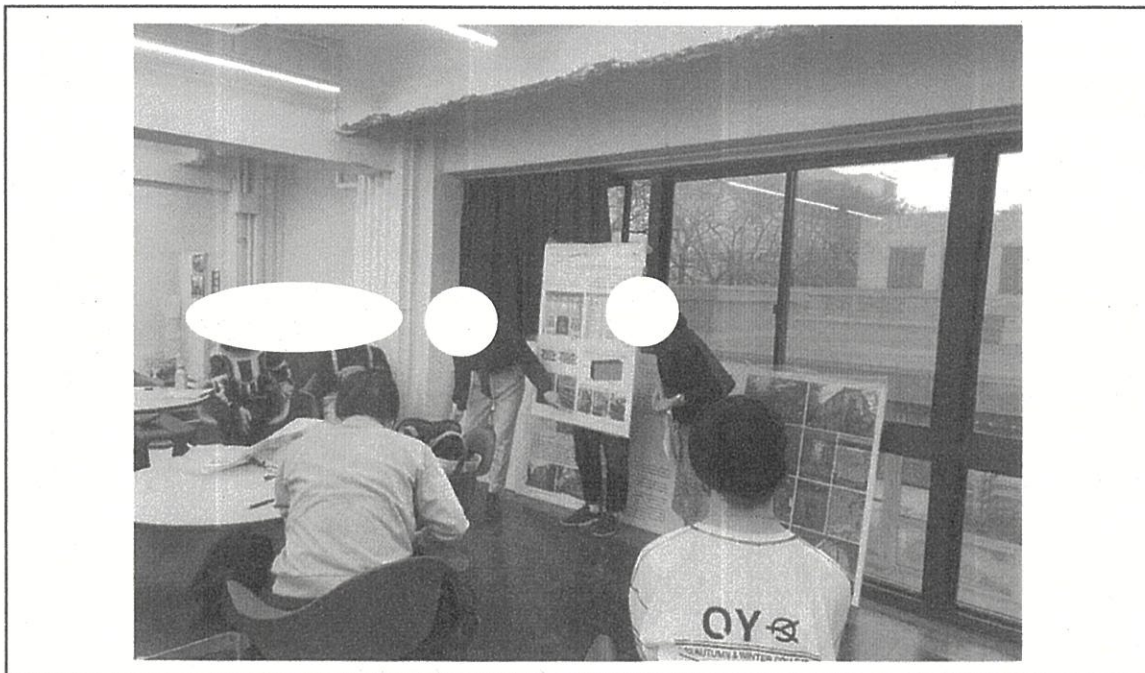
タイトル : 赤レンガ見学会 (筑波大グラウンド)

撮影年月日 : 2022年10月15日



タイトル : 赤レンガワークショップ (於: 千葉商科大学)

撮影年月日 : 2022年10月29日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 赤レンガ保存活動2022

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	勉強会参加費
寄附金収入	75,000	有志カンパ
補助金収入	150,000	イチサポ仮払金
その他 (助成金等)	0	
会費充当	41,415	団体の本会計より充当
返し戻し金	▲44,750 705	
合計	221,710	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	0	0	
特別研究費	150,000	150,000	① 25,000×6名
交通費	9,500	9,500	②
消耗品費	25,130	25,130	③-1、2、パネル代@1,760*10. P-ink、吊り金具
印刷製本費	25,480	25,480	④-1, 2, 3 パネル出力、
通信運搬費	0	0	
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	1,600	480	⑤ 室料
原材料費			
会合費	10,000	0	
合計	221,710	210,590	

※ 領収書(原本)を添付してください。

様式第8号（第8条関係）

市川市市民活動団体事業補助金軽微変更届出書

2023 年 3 月 30 日

市川市長

団体名 赤レンガをいかす会
(団体番号 59)

代表者名

所在地



2022 年 7 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業の軽微な変更をしたいので届け出ます。

記

1 補助決定事業の名称

赤レンガ保存活動 2022

2 変更の内容

駅南図書館において行った研究展示発表について研究発表会と講師による講評会が実施できなかった。

3 変更の理由

講師及び会場のスケジュール調整が出来なかったため。



市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

令和 5年 3月20日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人 アート空の会
(団体番号 60 [REDACTED])
代表者名 [REDACTED]
所在地 [REDACTED]

令和 4 年 10 月 1 日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	185,745円
(2) 補助対象経費総額	117,189円
(3) 補助金交付決定額	62,350円
(4) 補助金交付概算払額	62,350円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	市川みんなのアート展
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	<p>計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。</p> <p>今年度は申請が遅れたために、これまで9月行っていた一枚・一品展が10月になった。そのため、出品者が減るとかと思ったが予定通りの参加があった。公民館等を利用すると制約があるため、現在、法人事務所をギャラリーと使用している。ギャラリーは人数の制約はあるが、今のところは十分対応できている。</p> <p>ハートフルアート展について、これまでは主に精神障害者の方の展示を行ってきたが、今年度は視覚障害者の展示も行った。視覚が不自由なため、平面作品の展示は無理だが彫刻のような立体作品なら可能になると考えて実施したが、問題なくできた。</p> <p>障害者として区別した展示というより、一般の人が障害者を理解してもらうための合同の展示を考えていきたい。</p> <p>新年笑顔展は主に高齢者の認知症予防が目的で行っている。</p>
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	<p>事業を行う時にはチラシやDM(ポストカード)により参加、呼びかけをしている。また、その月に行われる行事や絵画教室、ワークショップについては、ホームページのブログで紹介している。</p> <p>しかし、ホームページは高齢者や障害者は見ていないことが多く、やはりチラシやDMでの広告が効果があるようだ。</p> <p>最近ではエキテンなども利用しているがあまり効果は出ていない。</p> <p>最近、新たに広告雑誌「ぐるっと千葉」に掲載することにしたが反応はまだ分からない。</p>
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	<p>補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。</p> <p>私たちの事業は主に障害者や高齢者等、社会的弱者といわれる人に対して、支援する事を目的にしている。</p> <p>そこには、「なぜ、一緒にするのか。別にした方が良い」と言うかたもいますが、その支援についてはそうした方たちに対する直接的支援と、もう一つが周辺の地域の人の健常者といわれる人たちの理解や協力の間接的支援があると考えている。</p> <p>そこで、単に障害者や高齢者の教室やワークショップをし、展示をすればそれでよしとするものではない。</p> <p>どうしたら、一般の健常者と障害者、高齢者が理解し合い、協力できるかが大きな狙いであり、課題である。</p> <p>そのために私どもでは、できるだけ健常者と高齢者、障害者とが合同で絵画教室・ワークショップ・展示を行うようにしている。</p> <p>しかし、健常者の中には「なぜ、一緒にするのか。分けた方がほうが良い」と言う方もいる。その差別観や差別意識が無くなるようにするためにも、この事業を継続していくより他はないと考えている。</p>
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	<p>補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。</p> <p>障害者や高齢者に対して、直接行っている絵画教室やワークショップ、それに展示会については皆さん大変喜んでいる。</p> <p>こうした方々はどうしても、健常者との交流が少ないために、孤立しやすく自宅にとじこもりの生活になりがちである。</p> <p>そこで健常者の方々と一緒に行動し行事をすることは、それを解決するために極めて有効である。</p> <p>健常者と障害者、高齢者がお互いに理解し合い、協力を関係を作ることは講習会等で行われるが、言葉による理解よりも行動化した方が有効だと思われる。</p> <p>実際にワークショップや展示等で行動化してみると、私ども会員でさえも協力できていない人が多く難しい課題である。</p> <p>そこで私のところは毎月、会報を発行をし支援や協力を促している。</p> <p>社会全体がそうした障害者や高齢者の差別感を無くすことが大事になるが、私たちは自分たちでできることから実行していきたいと考えている。</p>

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 精神障害及び高齢者絵画教室

撮影年月日 : 2022・11月22日



タイトル : 視覚障害者及び高齢者ワークシ

撮影年月日 : 2022・12月6日



市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：市川みんなのアート

1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	78,000	一枚・一品展 (17名×20000=34000) ハートフル展 (8名×2000=16000) 新年・笑顔展 (14名×2000=28000)
寄附金収入		
補助金収入	62,350	市川市より補助金収入
その他 (助成金等)		
会費充当	49,151	団体の本会計より充当
補助金返還金	▲3,756	
合計	185,745	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費			外部講師等の招へい あり/なし
交通費	23,100	19,500	京成八千代台～京成八幡
消耗品費	100,395	50,000	展示のための絵画教室・ワークショップ、画材、事務用品
印刷製本費	44,561	30,000	みんなのアート 3回分ポストカード, チラシ
通信運搬費	17,689	17,689	切手代, 郵送料 (84×111円×3回+172)
保険料			
使用料及び賃借料			部屋代、光熱費
食糧費			
合計	185,745	117,189	(注意！) 収入と支出の額が一致していません

※ 領収書(原本)を添付してください。